

立山室堂：気ままに散策 (2022/7/29-31)

YA

立山の室堂を拠点に雄山と奥大日岳登山を計画したのは、5月中旬でした。(参照マップ)
今年の夏は、梅雨(入りと明け)の異常、猛暑の日々、線状降水帯の各地被害等々、大変な夏でした。そしてコロナ3年目の夏です。

7/29 早朝と言うより夜中3時頃に入間を出発、友達三人と車で富山地方鉄道立山駅前に到着したのは8時20分頃でした。更に、ケーブルカーと高原バスを乗り継いで、1時間余りで室堂に到着。サブリュックに雨具、昼食、水を詰め替え、大きなザックはコインロッカーに預けました。準備は万全、立山連峰最高峰の雄山に向かい歩き出しました。

まだら模様の雪渓とお花畑が広がる室堂、友達と「感謝、感激」と言いながら歩き、でも途中から雨が降りはじめた為、一ノ越で引き返し、泊まる山小屋へと向かいました。

翌日は、朝から曇一つ無いお天気。奥大日岳へと向かう途中のキャンプ場では、色とりどりの100張のテントで賑わって居ました。川や雪渓を渡り稜線にでると、眼下にキャンプ場、昨日目指した雄山と一ノ越、その他の山並みもクッキリ、アルプスに來たと実感しました。暫く稜線を歩き剣岳が見える所まで来た時に、曇ゆきが怪しくなり始めました。予報では午後から雨でしたので、引き返す判断をしました。山小屋到着後は、どしゃ降りの雨。その後に日ざしが戻り、夜には満点の星と天の川に感激しました。

帰路は日曜日であり高速道路の渋滞を考慮して、早々に帰りました。





立山連峰（雄山ら）（左）、一ノ越（中央）と浄土山（右）



一ノ越からの雄山



みくりが池に映る立山連峰（雄山ら）



奥大日岳



眼下にキャンプ場



振り返ればキャンプ場や一ノ越が遠くに



立山リンドウ



ムカゴトラノオ



イワギキョウ



ミヤマキンバイ



チングルマ（稚児車）：お花が終わると綿毛の姿に



タカネバラ